

中期経営計画（案）にかかる委員意見

	法人名	委員意見	部局・法人回答
1	(公財) 大阪国際平和センター 【令和7年2月18日開催】	P12、「平和学習到達度」とあるが、学習の到達度は本来「対象となる者」の学力等により測定するものかと思うが、それを引率した「教員」の感触（アンケート）でもって測定し、その結果を「平和学習『到達度』」とまで表記するのはいかがなものか。	審議会でもご説明させていただいたとおり、来館校が計画した当日の学習プログラムの時間的制約等から、来館した小中学生全員にアンケートを記載いただくのは難しい。このため、教員を対象とする現在の手法は、来館した小中学生の意見の把握並びに学習成果が測れる最も効果的な手法である旨ご説明し、一定ご理解いただいたものと認識している。 ただし、指標名については、委員のご意見を踏まえ、より適切な「平和学習満足度」に変更する。（別紙1及び別紙2のとおり）
2		P12、【目標設定の考え方】の府内公立小中学校来館率の記載について、より説明趣旨が理解しやすいよう、表現を修正されてはどうか。	委員のご意見を踏まえて文言を整理し、以下のとおり修正する。 （別紙1及び別紙2のとおり） ※下線部を修正 「 <u>少子化の影響により学校数が減少するため、仮に来館校数が同数であっても来館率は上昇する結果となるが、さらなる平和学習の推進のため、上記取組により毎年度来館校数を増加させ、府内公立小中学校来館率を上昇させることを目標として設定する</u> 」
3		P15、「外国人入館者数」の令和7年度目標値についても、全体の「入館者数」の当該年度目標値算出の考え方と同様に、臨時休館等の影響を加味した目標値とされてはどうか。	委員のご意見を踏まえ、令和7年度の「外国人入館者数」についても、全体の「入館者数」の当該年度目標値算出の考え方と同様に、臨時休館等の影響を加味した目標値（8,132人⇒7,969人）に修正する。 （別紙1及び別紙3のとおり）

	法人名	委員意見	部局・法人回答
4	<p>(公財) 大阪国際平和センター</p> <p>【令和7年2月18日開催】</p>	<p>P17、「平和寄金収入」について、実状として、更なる確保に向けた取組みが厳しいことは一定理解しているが、計画期間の5ヵ年で合計44,000円しか増加しない目標値設定をするのは、法人の取組姿勢としていかがなものか。</p>	<p>委員お示しのとおり、マンパワーの問題や法人の運営状況などから寄金収入の大幅な増加は見込めないのが実状である。</p> <p>その状況下においても、他機関と連携した誘客効果の高い魅力的な企画事業の実施などの取組を通じて、寄附の呼びかけ等を行い、引き続き寄金収入の確保に努めたい。</p> <p>効果的な寄附の確保策について、引き続き検討していく。</p>